

解 答

I. 問1 イ 問2 イ

問3 山地の貯水力がおとろえるから。対策としては、植林をして森林を増やす。

問4 火山灰 問5 ウ

II. 問1 ウ 問2 ひのき

問3 輪中の堤防により、増水した川の水の逃げ場がなくなり、川の水位がさらに高くなるから。

問4 鹿児島 問5 ア・エ

問6 外国の技術を導入し、国内産業の近代化をすすめるため。

問7 橋をかけない川があり、陸路をとると大雨のときなど川留めにあい、進むことができなくなってしまうから。

III. 問1 豊田 問2 ア

問3 ため池をつくり、水を確保していた。

問4 尾根から谷に通し、少しづつ標高の高いところから低いところへ水を導いている。

問5 中京工業地帯が大きく発展したことにもない、愛知用水の水を工業用水として用いる割合が増えた。また、人口が増加してきたことにより生活用水としての利用も増え、水道水に用いる割合が高まってきたことがわかる。

IV. 木曽三川の下流域では、水害を防ぐために輪中の堤防を高くし、より高いところに水屋をたてて、食料を蓄え、避難用の小舟をつくるなどして水害に備えてきた。また知多半島では水不足に苦しみ、ため池をつくって水を得てきただが、その後愛知用水がつくられ、農業だけでなく工業も大きく発展するようになった。

V. 地域に住む人々は問題の解決のためにまとまり、幕府や政府に対して働きかけを熱心に行い、問題の改善を要求した。このような地域に住む人々の要求に対して、当時の幕府や政府は資金の一部を提供し、外国のすすんだ技術を取り入れて工事を行った。